

白岡市

(1) 市町の特色ある生涯学習の取組について

○白岡市生涯学習センター〔こもれびの森〕

すべての人たちが生涯を通じて楽しく学び、憩い、交流することができる生涯学習・地域コミュニティ・文化創造の拠点として、白岡市生涯学習センター〔こもれびの森〕が平成30年10月1日に開館しました。



開館セレモニーの様子



外観写真

○「町ぐるみん白岡」

社会教育委員が平成21年10月にまとめた提言書「みんなで子育て・白岡アクションプラン」を推進するために組織された団体である。「地域ぐるみ、まちぐるみで子育てを」との趣旨に賛同したスポーツ少年団や子ども会、小・中学校PTA、地元企業などの団体や個人で構成され、家庭、学校、地域の連携を推進するほか、子育て団体間の接着剤、潤滑油としての役割を担っている。

(2) 生涯学習活動の支援のための施策について

○「こもれびの森まつり」

今年度から、これまでの「図書館まつり」と「シルバーまつり」「福祉ふれあい広場」を合わせて「こもれびの森まつり」として開催しました。

当日は、「劇団木ぐつの木による人形劇公演」「まが玉づくり」「スタンプラリー」などのイベントのほかに「しらおか本の帯・POPコンクールはなみずき賞」の表彰式を行いました。

また、屋外では、焼きそばやお餅などの模擬店コーナーやあそびの広場を開催するなど大盛況のうちに終了することができました。

・来場者数 約3,200人



劇団木ぐつの木による人形劇公演の様子



まが玉づくりの様子

○図書館「福袋」

子どもたちが未知の本と出会う機会を提供することで、読書の幅を広げ、読書の楽しさを伝えることを目的とした、50袋の「福袋」の貸出を行った。袋ごとにテーマを設け選書した図書を3冊用意し、袋は中身が見えないように封をし、袋の外側に対象年齢及びテーマまたは中身のヒントを書いておく。平成31年1月5日から開催し、2日間で終了した。

(3) 家庭・地域の教育力の向上のための施策について

○家庭教育学級

各学期に1回程度家庭教育学級を開催しているほか、教育委員会主催で年2回の合同講座を開催している。

○「親の学習」講座

市内すべての小学校において、就学時健診の機会を利用し、新入学児童の保護者を対象とした「親の学習」講座を開催している。

○家庭教育アドバイザー

市内在住の家庭教育アドバイザーの活動を支援するため、定期的な情報交換会を開催するほか、各小・中学校のPTAの家庭教育担当者を対象とした学習会や「親の学習」講座の講師として活動の場を提供している。



家庭教育学級打合せ会



家庭教育学級合同講座

○「町ぐるみん白岡」

「町ぐるみん白岡」では、子どもたちが地域の方々と交流を深める事業や地域全体での子育て意識の醸成を図る事業等を実施している。今後は、組織の拡充や地域ごとのニーズに応える活動の実施を視野に入れ、関係団体とこれまで以上に緊密な連携を図り、地域と家庭、学校をつなぐ活動を行っていききたいと考えている。



ひこべえの森冬のつどい



学校応援団交流会

